

いざという時、本当に助けとなるのは
ご近所（助）の助け合いです。

平成26年10月15日
せんげん支隊 情報・広報班

慌しく台風18号が駆け抜けていきました。幸い小川では目立った被害もなかったようです。続いて19号が接近するという予報が出ました。（10月8日現在）大きな被害が出ないことを祈っています。

支隊便り第16号をお届けします。

1 8月後半から10月前半までの活動報告

- ① 支隊全体会議 8月24日（日）44名出席 多数の出席ありがとうございました。
- ② 第6回支隊長会議 9月13日（土）
- ③ 第3回スタンドパイプ放水訓練9月27日（土） 参加38名、皆さん、ご苦労様でした。
- ④ 支隊旗出し訓練 10月4日（土）活動隊員 32名参加 総合防災訓練 43名参加

2 10月後半～11月までの活動計画

- ① 第7回支隊長会議 10月13日（月）
- ② 支隊便り第16号発行 10月15日（火）
- ③ 第8回支隊長会議 11月8日（土）
- ④ 支隊総合防災訓練 11月16日（日）13:00より

スタンドパイプ訓練



3 第3回スタンドパイプ放水訓練の報告

台風16号が去った27日、女性12名を含む38名の参加者（見学3名を含む）、4名の消防隊員の計42名により、午前10時から準備運動、消火栓開閉、スタンドパイプ・ホースの接続などの訓練の後、参加者全員による放水訓練を行った。3度目の正直となった今回、予想を超える参加者数、特に12名の女性参加者があったことは画期的なことでした。参加者の皆さん、本当にお疲れ様でした。来年度も何度か訓練計画を予定していますので奮って参加をお願いします。訓練は何度も重ねることにより、実際的な力が付きます。

4 旗出し訓練と自治会総合訓練の報告

①旗出し訓練では、**217名**の方に旗を出していただきました。まずまずの成果であったと思います。しかし、当日は幼稚園の運動会と重なり、旗を出せないご家庭が多かったようです。来年度も100%を目指して旗出し訓練は行います。皆様方のご協力よろしくをお願いします。チェックを担当していただいた隊員の皆様、本当にご苦労様でした。

②午後からの自治会総合訓練には、せんげん支隊からは**43名**の参加がありました。昨年より約10名増加しました。参加された皆様、お疲れ様でした。なお、全体の参加者数は**200名**でした。

5 せんげん支隊独自の防災訓練のご案内

11月16日（日）、せんげん支隊の総合防災訓練を実施します。4月からの様々な活動の集大成としての防災訓練であると私たちは位置づけています。昨年同様、スタンドパイプの放水訓練、消火器による初期消火訓練、をメインとして、AED、通報訓練、炊き出し訓練などを予定しています。活動隊員の方は全員、一般隊員の方も1人でも多く参加していただきたいと思っています。詳細は支隊便り17号にてお知らせします。ぜひ参加してください。昨年同様お土産も用意しています。

6 “近助”という考え方

皆さんは“近助”という言葉を目にしたことがありますか。防災システム研究所の「山村武彦所長」は著書の中で、その精神を、「向こう3軒両隣、最後に助け合えるのは近所（助）である」と主張されている。（「近助の精神」より）「人は、隣人同士どこかで迷惑をかけあい、助け合いながら生きています。それがお互い様です。べたべたした付き合いはしなくて良いから普段から「程よい距離感」で隣人に関心をもち、困っているな、変だなと思ったら、いつでも近くにいる人が声をかけ、助けあう。傍観者にならない心、それが近助の精神です、と述べておられます。（続きは次号で）